学校番号	T3016

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	大阪の歴史Ｂ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、大阪の地理・歴史の知識と、発展的な課題について学習します。
・課題に対しては自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・単語を暗記するだけでなく、現代の自分たちの生活にもつながっていることを念頭に置き、当事者意識をもって学習し、課題について考えるようにしましょう。
・プリントの穴埋めをするだけでなく、教員の説明や他の生徒の発言から積極的にメモを取ることが良い学びと評価にもつながります。

2　学習の到達目標

・大阪における社会的事象の地理的・歴史的な見方・考え方を働かせ、発展的な課題を追求したり解決したりする態度を育成する。
・大阪の現代世界の地域的特色と日本の歴史の展開に関して理解している。
・調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
・大阪の地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる発展的な課題の解決に向けて構想したりしている。
・考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
・大阪の地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に発展的な課題を主体的に解決しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	大阪における近現代の地理・歴史の変化に関わる諸事象について、大阪と日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から地理・歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	大阪の近現代の地理・歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理の変化を含む、大阪の歴史に見られる発展的な課題を把握し、解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	大阪の近現代の地理・歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に発展的な課題を主体的に追究、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	大阪出身の人物	・大阪出身の歴史上の人物や有名人の歴史 ・大阪出身の有名人について調べて発表しよう	a:大阪出身の歴史上の人物についての知識と、その人物の生きた時代背景について理解している。 b:大阪出身の歴史上の人物の功績について理解したうえで、なぜそのような結果になったのか、活動に至ったのかについて、歴史的背景と関連付けて考察し、判断している。 c:授業で扱った人物以外で、現代の人物も含め、自分が知っている大阪出身の人物について調べて発表しており、その準備の際、諸資料を用いて主体的に調べ、他の生徒にわかりやすく伝えようと工夫している。	定期考査 授業プリント	授業プリント 提出課題	提出課題 発表
後期	堺市について	・堺市の歴史 ・堺市内の鉄道について ・堺市の伝統産業について	a:堺市の名前の由来や発展についての知識について理解している。堺市内の鉄道について、種類と乗り方を理解している。堺市の伝統産業である線香と包丁の歴史や産業について理解している。 b:教員が設定した駅から学校までの行き方、学校の最寄り駅から教員が設定した駅への行き方について考えて調べることができる。 c:堺市の伝統産業について興味を持ち、体験などに積極的に参加している。	定期考査 授業プリント	授業プリント 提出課題	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度